

日精診 会員 各位

公益社団法人 日本精神神経科診療所協会
〒151-0053 渋谷区代々木1-38-2 3F
TEL 03-3320-1423 FAX 03-3320-1426

(通信3枚)

災害支援義援金のお願い

会長 三木 和平

拝啓 時下ますますご清祥のことと存じます。

平素は当協会へご理解ご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

平成23年3月11日の東日本大震災からまもなく9年が経とうとしています。

日精診は、同年3月20日の理事会で震災支援対策本部を設けて以来、現在も支援活動を行っております。9年が経ちますが、「こころの復興」はまだまだ、発災から立ち直れず、取り残された被災者が多数おられます。からころステーションの活動からも、被災地での精神的なケアは引き続き重要であり、日精診としても引き続き支援が必要と考えております。そのために資金が必要な状況でございます。つきましては、あらためて全国の会員のみなさま方にご協力をお願いすることにいたしました。いただきました義援金はすべて、支援活動資金として役立たせていただきます。

義援金募集に絶大なるご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願ひいたします。

現状報告とお願い

原敬造・宮城秀晃

斎藤庸男（震災担当理事）

東日本大震災発生から9年7か月となります。仮設住宅は全て復興住宅となり、ハード面の復興はほぼ終了、引き続きこころのケアの充実が求められています。先日の第27回復興推進会議において菅新総理は「被災者の心のケアなどの問題が残され」と述べ、「避難の長期化に対応した見守り、心身のケア等の復興のステージに応じた切れ目のない支援」が課題であると総括されました。幸い、石巻市の「こころのサポート拠点事業」の継続が認められ、令和3年度以降の継続が可能となりホッとしたところです。前回の義援金のお願いでは一部の支援事業が終了となり、多大の損失を計上したことを報告、集まった義援金555万円に加え、貯えてあった義援金も合わせ、1402万円を助成して頂きました。こころより厚く御礼申し上げます。今年度はからころステーション（石巻市拠点施設）でも経費削減に努め、なんとか大きく欠損することなく決算できる目途が立ったところです。それでも補助事業では賄えない経費もあり、今年度もご寄付をお願いすることとなりました。コロナ禍の影響で各診療所が厳しい状況であり、みなさまの気持ちに余裕のないところで、こころ苦しく申し訳ない気持ちでいっぱいですが、被災者支援のため、浄財のご寄付をお願いいたします。

一口 1万円 目標金額 1千万円